

りんご

中ニ次ニ数行 子も其のころ

一人の青年と 我の一歩を

ハイキエが せしん

青年が 大きなカミプールの いっぱいの

りんごを もって来た

ひとりのりたを 手どバウと

わって わたしてくれ

そのりんごの 香りのいいこと

シエグリーと 香りがひろがる

口にしたら 味もいれおいしさ

これかリンゴ だと思ふ

新田記者曰って 青年

その彼 どうやうか

目の前を通り過ぎて消えてしまふ

命 灰塵から 送ってあつた

手でもあつたあんな 大それたリニアを月にして

昔のりたが かの月の影にひろがった

いつくまに 人イキエの 壁にふたり

んい

當時 小学校 まで 行った 嬉し

きつと 呼ぶおしん とも

いそいそ 送りだす

今日は 月と いろはに ありそ

りんご いちばん

2025
11/18